第2回朝日村中央公民館・周辺施設のあり方検討委員会　意見の整理

施設の集約化・複合化や導入機能について

■施設はまとめる
・今の施設はバラバラすぎるのでまとめる。
・今の施設は不便。どこに何があるか分からない。

■図書館の併設
・公民館と図書館がいっしょになってほしい。
・図書館を併設している公民館も多い。
・今の図書館は使いにくい。

■朝日村ならではの強み
・小さい村だからこそできることがある。
・他市の事例はあるが、朝日村には地域にあったやり方がある。
・ひとつしかないから、みんなで何とかしようとするところが良い。
・のんびりした生活ができると良い。

■部活の地域移行が始まる
・2年後に部活の地域移行が始まるが、どうなるのか困っている。
・地域にクラブが何もなくて困っている。
・中学校の部活の地域移行の話で、吹奏楽の指導者がいなくて困っている。
・中学校の部活が変わっていく。鉢中クラブがなくなると困る。
・今は子どもがいないので学校ではチームが成り立たなくなっている。
・複数の学校の子供たちが地域クラブで活動する時代。
・部活の地域移行の中学の状況に驚いている。
・本題は少子化対策ではないか。

■場所
・美術館は奥にありすぎる。

■駐車場を含めた全体のまとまり
・駐車場も必要なので、全体としてどうまとめるか。

■移動手段も一緒に考える
・高齢になっても利用できるように移動手段もいっしょに考えると良い。

■これからの時代の施設
・公民館は昔は使用する機会があったが、これからの施設にどういう目的を持たせるのか。時代が変わってきて難しくなっている。
・何らかの目的のための施設を作っても、時代が変われば使えなくなるような失敗はしないようにしたい。
・人口が減っていくのは明らかなので、大きい建物にしなくても良い。

■フレキシブルにする
・作ってムダになるものは良くない。
・広い箱、フレキシブルで開放的な箱で良い。
・現在は興味が多様化しているのでニーズを聞いて、ある程度合わせ、発信していくことが必要。

■公民館の基本的な役割
・公民館の役割は集うこと、人と人がつながる、人と地域がつながることが基本。

■集まり、交流の場
・公民館は昔は大切なところだったが、時代の流れの中で公民館というより、コミュニケーションをとれる場所。
・施設のあり方として、社会教育施設を作るだけでなく、人が交流できる「オープン広場」を意図的に作ることが必要である。
・オープン広場では飲食ができ、オープンな調理室があり、いつも誰かがいる所にすることが必要。
・オープン広場で活動できると良い。
・屋外にはバーベキューやミニイベントが開催できる場があると良い。
・月1回でも集まれる場所、交流できる場所になると良い。

■用がなくてもふらっと入れる、入りやすい施設
・公民館は用がないと入れない。
・公民館は用事がなくては行けないものではない。お茶を飲みに行ってもよい所。
・用がなくてもふらっと入れる施設。
・ぶらっと行って気軽に使える場がほしい。
・目的がなくても集まれるようにすることが必要。
・入りやすい施設にする。
・入りたくなる環境づくりが必要である。
・入口がいろいろあると良い。
・使い方もわからないので、いつでも来ていいということを発信してほしい。

■靴を脱がなくても入れる
・靴を脱がなくても使える施設にする、靴を脱ぐのは今の時代に合わない。
・土足でフリーに入れる場所にする。

■明るさ、開放的な雰囲気
・明るい雰囲気にする。
・開放的な施設にする、開放的であることが必要。

■フリーな場
・創造や発想の場、自由に何かができることが大事
・フリーでいられる場所、ぼーっとできるフリースペースが必要。

■人が大事＝【運営・管理】
・気軽に相談できるようになると良い。
・公民館側にどんな人が関わるのか。人がとても大事。これからの議論が必要。

施設の複合化により子ども達、若い世代の自然な日常利用につながる可能性が開ける

子ども達、若い世代の日常的な利用について

■子どもたちが自然に行くような仕掛け
・若い世代は外を向いているから、公民館を向かせるのは難しい。
・土日や長期休みに中高生は公民館に来ていない。ほぼゼロ。
・子どもたちは公民館へは行かないが、図書館と公民館、トレセンがいっしょになれば小学生でも公民館に行くようになると思う。

■子どもの頃に豊かな体験、つながりをつくる
・子どもたちをどう育てたいかが重要である。
・子どもは、誰とでも話ができて、自然の中で遊べるのが良い。
・子どもの頃に人と豊かな体験、つながりを作ることが大事である。
・人とリアルに接することが大切なので、意図的にそういう場を作ることが必要。
・自然発生的に大きな子が小さい子の面倒をみるような場になると良い。
・休みは普段体験できないことができると良い。
・子どもへの親の影響は大きい。親が生き生きしていないと、子どもも生き生きとしていない。
・子どもたちが社会との関係を考えられる場にすることが必要である。

■活躍の機会がある
・中学生は力があるから、活躍の場を与えてあげることは必要。
・中高生は自立してるので、やらせてみることが面白いと思う。

■遊び場がある
・子育て中に遊ばせる場所がないので、わざわざ松本市のあがた児童センターを使っていた。
・子どもが遊ぶ広い場所があれば良い。
・雨の日も遊べる場所がほしい。
・若い子連れが来る施設になると良い。

■学習スペースがある
・学習センターの役割は必要。
・図書館には学習スペースが必要。
・今の図書館では子供たちが勉強する気にならない。
・子ども達は今の図書館には行かず、松本の図書館に行っている。

■子どもがふらっと入れる
・子どもがふらっと寄って、ふらっと話ができる場所になると良い。

■子どもたちがフリーに使える
・保護者がいないと使えないと言われ、子どもたちがつまらないと言っていた。

■子どもにとって居心地の良い場がある（居場所）
・子どもにも居心地の良い場が必要。
・明るさがない。もっと明るい施設にすることが必要。
・子どもがいたいだけいられるようにする。

■子どもの意見を聞き、寄り添う
・子どもの意見を聞くのは大事。
・子ども達の話を聞く必要がある。
・若い世代に、村から LINE などを使って意見を聞いたらどうか。
・子どもたちの考えていることに寄り添うことは必要。
・山形村のワークショップでは子供たちの意見を聞いた。

今後の活動・事業について

■公民館事業のあり方
・公民館は本館主義で分館の事業が義務的になっている。
・分館が本当に必要かが問われている。
・公民館は公民館事業や講座をやっているが、自主活動も多い。

■人＝【運営・管理】
・企画でひきつけるのではなく、人である。話を聞いてくれる人が必要。